

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成30年12月24日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672900133
法人名	社会福祉法人九十九会
事業所名	グループホーム秋光園
所在地	鹿児島県日置市東市来町長里360-1 (電話) 099-274-3770
自己評価作成日	平成30年9月4日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成30年12月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

GH秋光園は高台の日当たりの良い場所にあり、近くに河川や危険箇所もなく立地条件も良好な場所にあります。自治会との関係も良く災害時の連携協定を結びこれまでも合同で防災訓練を行うなどありました。GHに面した法人のグラウンドでは定期的に自治会のグランドゴルフの練習が行われたり5月には自治会の運動会もあり入居者の皆様も競技に参加しています。昨年度から「いきいきサロン」に定期的に参加している入居者様もあり、在宅時からの繋がりも絶えないように配慮しています。地域の文化協会へも所属し毎年行われる文化祭へ入居者様と職員が作成したちぎり絵を出品し、展示会へ見学に行かれたりしています。行事に関しては行事委員会を中心に色々なイベントを計画し地域の「馬蹄り」の見学にお連れしたり、伊集院へ回転寿司を入居者全員で食べに行ったりと新しい試みも行ってマンネリしないようにしています。昨年は「RUN伴」というイベントにもグループホームで参加させて頂きました。気候の良い時期には個別での買い物、少人数でのドライブや外食なども行っています。ユニット間や職員同士の連携はもちろん、御家族との連携も力を入れながら受診や外出支援を行いその中で今現在の入居者様の状態を把握して頂けるよう情報の共有や連絡も行っています。入居者様の高齢化も進んできているので看護師と介護職がより連携して入居者様の健康管理に努め一人一人のペースを大事にし笑顔でゆったりと生活して頂けるように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- (事業所の優れている点)
- 法人の特別養護老人ホームや介護サービス事業所、在宅介護支援センターなどに隣接したホームである。法人のグラウンドを解放し地域の方々が、グランドゴルフを楽しまれたり、夏休みは、ラジオ体操の場として活用されたり、集落の運動会が行われ利用者が、「宝釣り」に参加している。自治会に加入し、地域の行事を通じて日常的に交流し、ボランティアを受け入れたり、地域サロンにて地域交流している。
 - 身体拘束委員会があり、法人と合同の研修会への参加や今年度、「身体拘束等の適正化の推進」のため指針を見直し整備している。職員は、身体拘束することの弊害などについて十分に理解しており、言葉使いに注意を払い、行動を抑制するようなケアをしないよう心がけている。また、センサー類は漫然と使用することがないよう廃止を検討している。
- (事業所の工夫点)
- 管理者や職員は、前回の外部評価を受けて、「目標達成計画」にて運営推進会議への家族の参加や事業所運営について、遠慮なく意見を出していただけるよう取り組んでいるが、まだ十分とは言えないと感じている。家族との情報共有の在り方を検討中である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	園内に理念を掲示し、会議などで定期的に確認をしています。	現職員とは全体の会議などで、また、新人職員は入職後、1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月と面談の機会があり、個人面談の中で説明し理念を共有するようにしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事への参加、自治会の運動会や「いきいきサロン」への参加、また地域の方のボランティアを活用しています。	自治会に加入しており、運営推進会議などで地域の情報を収集したり、年間行事計画書を作成し利用者の生活の継続を意識したサロン活動や地域行事に参加できるよう支援している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	法人全体で夏祭り（花火大会）や防災訓練、地域文化祭への参加など様々な行事を実施しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	隔月で実施し、市の担当者、自治会長、民生委員、他事業所、入居者とその家族などを中心に幅広い情報交換を行っています。ご家族の参加も定着しつつあります。	家族は、ユニットで交互に交代する代表制になっているが、事業所の運営の状況などや会議で話し合われた内容などは、議事録を閲覧して頂いたり、大事なことは家族会で説明するようにしている。管理者は、参加メンバーの多様な参加を検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議や支援センター、法人の事務所を通じてアドバイスや情報を頂いています。</p>	<p>市職員などとは、日頃から相互の連携や協力関係を築いており、地域包括支援センターと協力し、地域サロン活動への参加など支援している。また、在宅介護支援センターを通じて、入所相談も多く法人の支援体制が構築されている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>3ヶ月に1回の身体拘束廃止委員会を実施し、現状の確認や見直し、代替性の検討を話し合い身体拘束ゼロを目標に実施しています。</p>	<p>今年度、身体拘束等適正化の推進を図るため、指針を整備している。今月、外部講師を招いて法人の研修会に参加する予定である。センサーマットや人感センサーなど使用しているが、モニタリングを踏まえ、必要性を検討しつつ廃止の方向性を検討している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>法人内の研修への参加や会議などで「人権」について学び「虐待防止」を再確認しています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>法人全体で研修をしたり、関連の研修に参加したり情報を頂きながら学習しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前に契約に関する説明を行い、必ず書面に残し記録しています。改定等は再度説明を行い同意書などを準備して同意、理解を頂いています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年2回の家族会や面会時などでご家族の要望や意見を聞く機会をつくり、出来るだけ形に出来るように努めています。	職員は、家族との信頼関係を築くことを意識し支援しており、家族会後に食事会を開催して親睦を深めている。また、面会時に意見や要望などが気軽に出来るよう雰囲気作りに努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のスタッフ会議や入居者の変化に応じてその都度管理者を中心に協議し、各担当職員の意見を取り入れながら実施しています。	管理者は、随時職員と面談し、意見、提案などを聞く機会を設けているが、昨年から経営コンサルタントの指導や助言も受けられるようになり、職員が働きやすい職場環境や条件などを整備するよう取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各職員のライフスタイルに応じた勤務時間をつくり、処遇改善についてもその都度要望をお願いしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修参加を促し、またグループホーム内でも勉強会を実施したりしながら、各自のスキルアップに努めています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>市のGH協議会やケアマネ協議会に加入し、研修や会議に参加し交流や情報交換を行っています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に面会や情報収集を実施し、落ち着くまでは出来る範囲でのご家族のサポートをお願いし連携体制を作り安心して過ごせるように努めています。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>事前の情報収集に加え、入所当日に担当者会議を実施し要望や状況に応じた体制づくりを行っています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>まずはGHでできる事、できない事を明確にし本人やご家族の意見を聞きながらその時の本人にとって大切なものを見極めながら実施できるように努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の嗜好や出来る事に目を向け、簡単なお手伝いなどホームでの居場所や役割を作り努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	都合のつく範囲で外泊や外出、外食などの機会を設け、また本にからの要望もお伝えしながら連携体制を作り実施しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	帰宅や外泊、「いきいきサロン」への参加などで、地域との繋がりが途切れないように配慮しています。	地域サロンに出かけて地域交流をされる方や行きつけのラーメン店に職員、家族と出かける方がおられたり、併設のデイサービスに面会に行かれる方おられる。職員は、盆正月の家族の予定を聞き取り、外出や外泊ができるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が間に入りながら、入居者同士の交流や関係が作れるように努めています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所時に限らず相談や要望がある場合はいつでも遠慮せずお伝えしてほしい事をお願いしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族や会議等での職員からの意見をもとに、変化に応じてケアの見直しなどを検討しています。	部屋担当は3人～4人の職員が担当となり、利用者や家族との関わりを深め本人の思いや意向の把握を行いながら、利用者とは一対一の付き合いを心がけている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報やご家族、本人への聞き取りからの情報を参考に記録にしています。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人のペースを大事にし、無理のない自立支援に努めています。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員同士は申し送りや連絡ノート、ホワイトボードなどで情報を共有します。ご家族には面会時に状態報告や要望を聞いています。	申し送りや連絡ノート、ホワイトボードを活用し、情報を共有したり、定期的にモニタリング会議を実施している。担当者会議は、家族の都合を聞いて会議の日程調整を行い、利用者、家族、職員全員で計画の話し合いをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の観察から気づいた点や変化は個別の台帳に記入し、会議などで報告したり情報共有を行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人の要望をもとに、買い物や墓参り、美容院や外食などご家族の協力も頂きながら実施しています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の文化祭や自治会の運動会、いきいきサロンなど職員が同行し積極的に参加しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>家族と本人の要望に応じて主治医を決めています。月1回内科と認知症専門医の訪問診療も実施しています。</p>	<p>訪問診療にて、診察や内服薬処方を受けているが、精神科医の訪問診療もある。他科受診は、家族と相談しながら職員が対応している。また、法人の看護職との医療連携がある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>気づいた点や変化を看護師へ報告、相談し入居者のケアの見直しや健康管理に努めています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時は状態確認や退院後の生活について病院の相談員と連絡を取り準備体制をつくります。ご家族からの相談や要望も病院への相談員へ報告、相談し対応できる連携体制に努めています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所契約時に管理者から文書で説明します。状況に応じて本人やご家族の意思を確認し、また相談や要望を聞きながら協力病院との連携体制をつくりホームで現状出来る事を説明し体制づくりに努めます。</p>	<p>契約時に、急変時の治療の方針や重度化した場合の医療について文書にて十分に説明し、意志確認書を交わしている。「終末期の対応に関する指針」を定めているが、事業所は、看取りの体制がないため、重度化した早い段階から利用者や家族などと話し合いながら、必要に応じて医療機関や介護施設などを紹介するなどしている。</p>	<p>終末期の対応に関わる指針はあるが、看取りを前提とした内容になっているため、看取りに対する事業所の取り組みや支援の方向性などが家族に理解できるよう文書を整備されたい。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故や急変に関してマニュアルを作成し、会議棟でも研修を実施し確認しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>法人全体での防災訓練や地域と協力しながら防災訓練を実施しています。</p>	<p>法人が地域と防災協定を結び年2回、火災時の避難訓練を実施している。地震時は、特養が避難場所のため訓練時に避難経路の確認をしている。地域協力者に利用者情報や住環境の情報提供ができるよう運営推進会議に参加していただけるよう検討している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	毎回ケアの前に入居者へ声掛け、説明を行いながら介助を実施しています。また、各居室にトイレと洗面所がありプライバシーが保たれています。	毎年度、人権擁護やプライバシーに関する研修会に参加し、不適切な言葉使いや対応が無いよう取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食事メニューや参加の有無、更衣など些細な事でも選択の自由を尊重し、自己決定する場面を作ります。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	買い物や外出など調整を行い出来るだけ要望にこたえられるように努めています。また、当日が無理なら別日での調整も行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服の選択や化粧など個々の好みで楽しめるように配慮しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の能力に応じてもやしの根とりや台拭きなど意欲に応じた作業をお願いしています。	ユニットごとに献立は異っている。野菜をふんだんに取り入れ、家族などからの差し入れも多く一緒に食卓を囲む機会もある。また、外食や行事食を楽しむ季節感が味わえるよう支援している。能力に応じたお手伝いもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	旬のものを出来るだけ取り入れながらメニューを作成し食事を楽しんで頂いています。摂取量はチェック表を用いて確認しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食時、能力に応じて声掛けや介助により口腔の清潔保持に努め定期的な歯科受診はご家族にお願いしています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各居室にトイレがあり、自力での排泄維持に努めています。排泄パターンや状態に合わせて見直しやパットの使用も検討しています。	居室にトイレが設置され、排泄の自立支援のためベットの位置を工夫したり、手すりを活用して自分でトイレに移動し排泄ができるよう住環境を整えている。尿意、便意がない方や曖昧な方には、定時で声かけしたり、おむつ交換し清潔保持に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取量や食事を工夫しながら出来るだけ自然排便を促しています。排便困難者は主治医や看護師へ報告、相談し薬の調整を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的に週2～3の入浴を実施しています。職員が1対1で対応しゆったりと入浴を楽しめるように配慮しています。	入浴は、毎日午後から実施しているが、本人の希望や必要に応じて柔軟に支援している。同性介助を希望し入浴される方もおられ安心してゆつくりと入浴を楽しまれている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の状態や希望に応じて、寝具や室温調整を行い安眠できるように配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が中心となって主治医やご家族と相談しながら服薬支援を実施しています。変更時は申し送りやボードを使用して情報共有を行います。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の生活歴や嗜好、趣味に応じて裁縫や手芸、ぬり絵や園芸など職員と一緒に支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	年間行事以外でも、入居者の要望に合わせてその時の気候、入居者の体調を見ながら個別に外出支援を行っています。	外出の計画を立て、なるべく全員での外出を計画しているが、体調などにより個別支援になることもある。ゴミ出しや敷地内の散歩を日課にされる方がおられたり、ユニットごとに家族の協力をいただきながら外出を楽しんでいただいている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在入居者で金銭管理をしている方はいません。ご家族の同意をもとにお小遣いを預かり希望に応じたものを購入しご家族へ報告しています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>入居者の希望や要望があればご家族へ説明し電話の支援を行っています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室は入居者の希望や動線に合わせた配置を実施しています。共有スペースは季節感を感じられるような飾りや掲示物を置いたり写真などを飾り目でも楽しめるように配慮しています。</p>	<p>玄関から、食堂兼リビングの雰囲気伝わってくる造りになっている。居室は、左右対称に配列され廊下も広く、途中で休憩ができるよう長椅子が設置されている。採光があり、対面式キッチンから料理の匂いや音が聞こえるなど家庭的雰囲気に包まれている。壁には、毎年文化祭に出展している干支のちぎり絵や利用者の作品が掲示されている。季節の生花が活けてあったり、玄関外のプランターの花々も来訪者の目を楽しませてくれている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>廊下や窓際にソファや椅子を準備し、日光浴や談笑を楽しむように配置しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族の写真や在宅で使用していたものを置いたり一人一人が落ち着いて過ごせる環境づくりに努めています。</p>	<p>なるべく使い慣れた物を持ち込み本人の安心感が得られるよう配慮している。本人の趣味活動や身だしなみ、生活習慣を考慮した住環境であり個性も大切にしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>本人の状態や動線に合わせた配置になっており、歩行状態によってはセンサーマットを使用し安全に努めています。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない